

令和7年度  
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	音楽	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学生の音楽2・3下	出版社名	教育芸術社
------	------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一 学 期	4	器楽:アルトリコーダー(通年)	・アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎		<b>授 業 の 概 要</b> 一、二年生で学習した内容をもとにさらに学習内容に広がりをもたせます。 歌唱では、イタリア語の歌曲や、合唱曲を歌います。器楽では、アルトリコーダーの練習に加えて、箏の基本的な奏法を学び、鑑賞では、形式や演奏形態を理解しながら楽曲への理解を深めます。	
		歌唱:日本の美しい情景を表す歌	○「花」 ・歌詞を味わい、情景を感じ取った歌唱 ・言葉と旋律の関わりや伴奏の効果を感じ取り表現を工夫			◎		
	5	中間考査(5/13~5/14)						
		鑑賞:音楽の構成を理解して	○鑑賞曲「ボレロ」 ・繰り返しの効果と変化する音色や組み合わせによる響きの聴取	○		◎		
	6	歌唱:歌い合わせ、聴き深める喜び	○「時を越えて」 ・主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現を工夫	○		◎		
		期末考査(6/25~7/1)		○	◎	◎		
	7	創作:言葉を生かした旋律作り	○マイメロディ ・和音に含まれる音から旋律を作り創作を行う	○	◎	○		<b>学 習 の 到 達 目 標</b> ・楽曲の演奏に相当である表現を楽譜から読み取ることができる。 ・記号の読みと意味を理解し、演奏に必要な演奏技術を身に付けることができる。 ・音素材の特徴を理解し、自分のイメージや音楽を形づくっている要素とかかわらせながら、それらを生かして音楽をつくることができる。 ・楽曲の形式と背景を理解し、美しさを感じながら鑑賞し、自分の言葉で表現することができる。
夏季休業日(7/19~8/24)								
二 学 期	9	歌唱:曲想の変化を生かして	○「帰れソレントへ」 ・速さ、強弱の設定と転調による曲想の変化を味わいながら歌唱 ・正確なイタリア詞唱と曲種に応じた歌い方を工夫	○	◎		<b>評 価 の 観 点</b> <b>知 識 ・ 技 能</b> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <b>思 考 ・ 判 断 ・ 表 現</b> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質な雰囲気を感受しながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。 <b>主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度</b> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		鑑賞:多彩な音楽を聴こう	○ポピュラー音楽(ロック・ジャズ・ボサノヴァ) ・リズムや音色、旋律、音の重なりを聴取し、世界の音楽を感じる					
	10	中間考査(10/7~10/8)	○世界の諸民族の音楽(朝鮮半島・アラブ諸国・インド)	○		◎		
		歌唱:混声合唱の楽しみ	○「大地讃頌」 ・歌詞の内容を味わった歌唱 ・声部の役割を理解して表現を工夫	○	◎			
	12	期末考査(11/26~12/2)		○	◎	◎		
		○考査前に引き続き「大地讃頌」		○	◎	◎		
	冬季休業日(12/20~1/7)							
三 学 期	1	鑑賞:日本の伝統芸術の魅力 -能-	○鑑賞曲 能「敦盛」 ・面や衣装、舞台表現の特徴などの理解 ・物語の内容の理解、声の出し方や楽器との合わせ方に着目した鑑賞	○		◎	<b>評 価 方 法</b> 学習の状況は、「知能・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。また、「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」でも評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法で評定します。	
		歌唱:混声合唱の楽しみ2	○「旅立ちの日に」 ・声部の役割や、速度や強弱の変化を生かした歌唱 ・曲想の変化を感じ取って表現を工夫	○	◎			
	学年末考査(2/20~2/27)		○	◎	◎			
	3	○「さくら さくら」 ・箏の特徴、平調子について知り、基本的奏法を習得		○	◎			
							<b>備 考</b>	

令和7年度  
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	音楽 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	MOUSA 1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	◎	◎	○	授業の概要 基礎的な技能を踏まえ、歌唱、器楽、鑑賞活動を行います。歌唱では、さまざまな国の歌に親しみます。また、正確な音程や響きの統一により美しいハーモニーづくりを目指します。器楽ではギター、篠笛の基本的な奏法を学びます。	
		歌唱:正しい姿勢や呼吸法、発声法を身に付けよう	○ 「Ave Maria」、「Lemon」 「負けないで」 ・基礎的な歌唱技能の確認					
		鑑賞:古典派の音楽を知ろう	○ モーツァルトの生涯と作品 ・古典派音楽の特徴と作品の理解					
		中間考査(5/13~5/16)	○ 「Heidenroslein」 ・歌詞の内容の理解					
	5	歌唱:ドイツ語の歌に親しもう	○ エーデルワイス ・ギターの基本的な奏法と単旋律の演奏	◎	◎	○		
		器楽:ギターに挑戦1(単旋律)	○ 「サウンドオブミュージック」 ・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	◎	◎	○		
		鑑賞:ミュージカルに親しもう	○ 「サウンドオブミュージック」 ・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	○		◎		
6	期末考査(6/25~7/1)		○		◎	学習の到達目標 ・ 楽曲に合った豊かな発声法や響かせ方を工夫し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現をすることができる。 ・ ギター、篠笛の基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ 音素材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくることことができる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠を持って自分なりに批評することができる。		
	歌唱・ギターに挑戦2(コード)	○ 「カントリーロード」 ・コードの確認と弾き歌い	◎	◎	○			
	夏季休業日(7/19~8/24)							
二 学 期	9	歌唱:イタリア語の歌に親しもう	○ 「Caro mio ben」、「O sole mio」 ・歌詞の内容を理解し、表現を深めた歌唱 ・用語や記号を表現に生かした歌唱	◎	◎	○	評価の観点 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	
		歌唱:ミュージカルに親しもう	○ 「キャッツ」より「Memory」 ・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	◎		◎		
		中間考査5年(9/30~10/3)						
	10	中間考査4・6年(10/7~10/10)						
		鑑賞:オペラを聴こう	○ オペラ「カルメン」 ・フランス語のオペラの魅力や歌手の表現の工夫	○		◎		
		器楽:篠笛に挑戦	○ 「ほたるこい」、「さくら」 ・基本的な奏法の確認	◎	◎	○		
		鑑賞:日本音楽の歴史を知ろう	○ 武満徹「ノヴェンバー・ステップス」 ・日本音楽の特徴と発展、和楽器の伝承	○		◎		
11	期末考査(11/26~12/2)					主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
	歌唱:日本歌曲を歌おう	○ 「この道」 ・日本語の美しい響き、鼻濁音について	◎	◎	○			
	冬季休業日(12/20~1/7)							
三 学 期	1	創作:iPadで作曲活動しよう	○ オリジナル着信音の作曲 ・音を加えたり、リズムや拍子、調などの要素を変えたメロディーづくり	◎	○	○	評価方法 学習の状況は、「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体物には、おもに「出席」「授業態度・取組方」「実技テスト(歌唱・器楽)」「提出物(創作・鑑賞)」「小テスト(知識・理解)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。	
		器楽:篠笛に挑戦2	○ 「お囃子」 ・リズムの工夫と応用的な奏法の工夫	◎	◎	○		
	2	学年末考査4・5年(2/20~2/27)						
	3	歌唱:ヴォイスアンサンブルを楽しもう	○ ヴォイスパーカッション「サザエさん」 ・パート練習及び全体練習 ・発音の仕方とドラム特有の音質の表現	◎	◎	○		
備考								

令和7年度  
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	6年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	-----	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	MOUSA2	出版社名	教育芸術社
------	--------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	○	◎	○	授業の概要 音楽Ⅰまでで学んだ基礎・基本的な内容を踏まえた応用的な内容になります。歌唱は難易度の高い楽曲に取り組み、器楽では自由な編成でのアンサンブルやギター演奏を、鑑賞では近・現代音楽といわれるジャンルの音楽を学習します。また、創作領域として、簡単な編曲にも挑戦します。
		歌唱:呼吸法と発声法	○「Alleluja」「SUN」「歩いて帰ろう」「ハナミズキ」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認				
	5	器楽:ギター1	○「糸」 ・ コードの確認と弾き歌い				
		中間考査(5/13~5/16)	○交響曲41番ハ長調K.551ジュピターから第4楽章 ・モーツァルトの作品分析				
		鑑賞:交響曲	○「雨に唄えば」 ・物語の考察と役者の表現力				
	6	鑑賞:ミュージカル1	○「雨に唄えば」 ・物語の考察と役者の表現力				
		期末考査(6/25~7/1)					
7	歌唱:ドイツ歌曲	○ ドイツ歌曲「春への憧れ」 ・ 正しいドイツ詞唱と曲想に応じた表現					
	夏季休業日(7/19~8/24)						
二学期	8	器楽:ギター2	○「愛のロマンス」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い	◎	◎	○	学習の到達目標 ・ 楽曲に合った発声法を目指すだけでなく、自身の声質や声域を理解し、より美しい歌声作りをすることができる。 ・ 楽曲に対してこだわりをもち、より良い演奏を目指すことができる。 ・ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって編曲することができる。 ・ 作曲者の意図を理解し、素直な気持ちで鑑賞することができる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠をもって自分なりに批評することができる。
		創作:メロディーの雰囲気を変化させよう	○「Amazing Grace」で変奏曲をつくろう ・ 音楽を形づくっている要素を操作しながら編曲				
	9	中間考査5年(9/30~10/3)					
		中間考査4・6年(10/7~10/10)					
	10	鑑賞、歌唱:オペラに親しもう	○「トゥーランドット」 ・ オペラ、作曲家プッチーニ、物語のあらすじについて理解 ・ 音楽の要素や曲の特徴を把握し、自らの言葉で表現 ・ アリア「誰も寝てはならぬ」歌唱(イタリア語の確認)				
		歌唱:日本歌曲	○「からたちの花」 ・情景を思い出し、日本語を大切にされた歌唱				
	11	期末考査(11/26~12/2)					
12		鑑賞:ミュージカル2	○「グレーテストショーマン」 ・物語の考察と役者の表現力				
冬季	冬季休業日(12/20~1/7)						
	1	器楽:ギター3	○「天体観測」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い	◎	◎	○	評価の方法 学習の状況は、「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体物には、おもに「出席」「授業態度・取組方」「実技テスト(歌唱・器楽)」「提出物(創作・鑑賞)」「小テスト(知識・理解)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
歌唱:合唱		○「瑠璃色の地球」 ・ 混声合唱の響きを感じ取り、各声部の役割を知る 家庭学習					
		2					
三学期	3						備考

令和7年度  
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	美術	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術2・3上下 学びの実感と広がり・学びの探求と未来	出版社名	日本文教出版
------	----------------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一 学 期	4	オリエンテーション	・社会に広がる美術			◎	授 業 の 概 要  3年生では、2年生までの学習を踏まえて、それぞれの課題に自己のテーマを設定し、主体的に制作活動をしていきます。表現能力や技能をさらに高め、より良い作品を追求しながら、芸術の喜びを味わいます。	
		魅力を伝えるパッケージ	・パッケージデザイン(テキスタイル)に関心を持って、ティッシュボックスのデザインを考える	◎		○		
		暮らしを心地よくするインテリア (テキスタイルデザイン)	・アイデアスケッチ	○	◎			
			・下描き①	◎	○			
	5	中間考査(5/13~5/14)		・下描き②	◎	○		
				・着色①	◎			
				・着色②	◎			
6			・着色③	◎				
			・着色④	◎				
			・着色⑤	◎				
			・完成	◎		○		
			期末考査(6/25~7/1)	・相互鑑賞	◎		◎	
7	日本の美意識	風雷神神図の屏風を通した対話型鑑賞			◎	・ 自分の表現したい意図が見る側にしっかり伝わるように粘り強く制作に取り組むことができる。 ・ 自分の個性を感性豊かに表現すると同時に、友だちの作品の深みを読み取ることができる。 ・ ポスターの意味をしっかりと理解し、高いレベルで制作できる。 ・ 人間にとって芸術とは何なのか、を自分の問題として考えることができる。		
		時代を超える「琳派」の魅力	◎					
夏 季	8	夏季休業日(7/19~8/24)						
二 学 期	9	屏風絵 (点描技法を用いて)	・和柄や紋のデザインから学ぶ	◎			評 価 の 観 点  知識・技能  【知】形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技】材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。	
			・アイデアスケッチ①		◎			
			・アイデアスケッチ②		◎			
			・下描き①	◎	○			
	10	中間考査(10/7~10/8)		・下描き②	◎			
				・転写①				○
				・転写②				○
11			・点描①	◎				
			・点描②	◎				
			・点描③	◎				
			・点描④	◎				
12	期末考査(11/26~12/2)		・点描⑤	◎				
			・完成	◎		◎		
			相互鑑賞	◎		◎		
冬 季	12	さまざまなアートに触れよう	・鑑賞	○		【発】自己の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。		
		日本や世界の文化遺産	・文化遺産についての鑑賞	○			◎	
		冬季休業日(12/20~1/7)						
三 学 期	1	石を彫る(デザイン・工芸) (自然とのつながりから生まれた造形)	○篆刻	○		評 価 方 法  学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。		
			・陽刻と陰刻について ・芸術作品としての印	○			○	
			・アイデアスケッチ	○			○	
	2		・彫る①		◎			
			・彫る②		◎			
3	学年末考査(2/20~2/27)		・彫る③	◎	○			
			・完成	◎		◎		
		日本美術の展開と世界との交流(鑑賞)	・完成(2学期制作の屏風にも押印)	◎		◎		
		3年間のまとめ	○巻末資料を基にDVD鑑賞 ・美術との向き合い方	○		○		
							備 考	

令和7年度  
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	美術 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	美術1	出版社名	光村図書
------	-----	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一学期	4	オリエンテーション	美術Iについて	○			<b>授業の概要</b> 「美術I」では、美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	
		平面構成(デザイン)	イメージを形に(文様で飾る) ・身近にある文様を知る ・アイデアスケッチ①、② ・アイデアスケッチ③、④	◎				
		5	中間考査(5/13~5/16)	・アイデアスケッチ⑤、⑥(配色計画)	◎	○		
				・下書き①、② ・着色①、② ・着色③、④ ・着色⑤、⑥ ・完成	◎			
	6	期末考査(6/25~7/1)	・相互鑑賞					
		自画像	・写真撮影①、② ・フォトショップの説明	○				
		夏季休業日(7/19~8/24)						
二学期	9		・フォトショップによるデジタル加工作業①、② ・フォトショップによるデジタル加工作業③、④ ・下描き①、② ・下描き③、④ ・下塗り①、②	○			<b>学習の到達目標</b> ・絵画・彫刻では、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、その主題を追求して表現することができる。 ・デザインでは、目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成し、表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現することができる。 ・鑑賞では、美術作品などの良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めることができる。また、日本の美術の歴史や表現の特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めることができる。	
		中間考査5年(9/30~10/3)	・下塗り③、④	○	◎			
		中間考査4・6年(10/7~10/10)		○	◎			
		10		・上塗り①、② ・上塗り③、④ ・上塗り⑤、⑥ ・上塗り⑦、⑧ ・仕上げ ・完成	◎			
	期末考査(11/26~12/2)		・相互鑑賞					
	12	鑑賞	・映像鑑賞	○				
		切り絵制作(デザイン・彫刻)	・切り絵の基本的な特徴 ・アイデアスケッチ1	○				
	三学期	1	冬季休業日(12/20~1/7)					
			切り絵制作(デザイン・彫刻)	・アイデアスケッチ2 ・原案完成 ・転写①、② ・カッティング①、② ・カッティング③、④ ・カッティング⑤、⑥ ・カッティング⑦、⑧				○
			学年末考査4・5年(2/20~2/27)	・仕上げ(バランスを見て制作) ・仕上げ(色画用紙に貼り、額にはめる)	◎			
2			・相互鑑賞					
		時を越える創造(鑑賞)	・一年間を振り返って	◎				
3								

令和7年度  
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	6年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	-----	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	美術2	出版社名	光村図書
------	-----	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一学期	4	オリエンテーション	美術Ⅱについて	○			<b>授業の概要</b> 「美術Ⅱ」では、これまでの美術で学習したことを踏まえ、自分に合った表現方法を探りながら自主的な創造活動を中心に行い、個性豊かな表現の能力を養います。 また、幅広い地域や時代の作品や広く社会の中で活躍する作家などを取り上げ、生涯を通して美術文化について理解を深めます。	
		卒業制作(デザイン)	○統一感をつくるデザイン	○				
		統一感をつくるデザイン (スマホスタントのデザイン)	・スマホスタントのデザイン ・自分のスマホと合うデザインのスマホスタントを考える ・アイデアスケッチ		○			
		中間考査(5/13~5/16)	・制作		○			
	5		・制作			◎		
			・制作			◎		
			・制作			◎		
6		・仕上げ			◎			
		・鑑賞会		○	○			
7	期末考査(6/25~7/1)	・問題を解決するデザイン	○			<b>学習の到達目標</b> ・制作におけるさまざまな技法を習得し、自己表現に生かすことができる。 ・自分の個性や感性、思いを、相手に伝わるように表現すると同時に、友だちの作品の思いも同様に読み取ることができる。 ・人間にとって芸術とは何なのか、自分にとってどういう意味を持つのかを、自ら制作する中で考えることができる。		
	鑑賞	・作品鑑賞室 ・1学期のまとめ	○		○			
	夏季休業日(7/19~8/24)							
二学期	9	卒業制作(絵画・デザイン)	○タンブラー制作・アイデア	○			<b>評価の観点</b> <b>知識・技能</b> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	
		エッチングの世界	・アイデア ・下描き ・下描き ・下描き		◎			
		中間考査5年(9/30~10/3)				◎		
	10	中間考査4・6年(10/7~10/10)	・制作			◎		
			・制作			◎		
			・制作			◎		
	11		・制作			◎		
			・仕上げ			◎		
			・鑑賞会		○	○		
	12	期末考査(11/26~12/2)	・インタビュー 美術の仕事	○				<b>主体的に学習に取り組む態度</b> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
		鑑賞	・インタビュー 美術の仕事 ・映像鑑賞、2学期のまとめ	○		○		
		冬季休業日(12/20~1/7)						
三学期	1	世界の美術(鑑賞)	○アニメーションの表現について理解を深める ・鑑賞 ・鑑賞 6年間を振り返って 家庭学習	○			<b>評価方法</b> 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価を行う。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価を行う。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定を行う。	
						◎		
	2					○		
3						○	備考	